



報 告 書

阪技術研顧客サ第1-09540 号

受付番号	I02-02228		
依頼者	会社名	株式会社加納	
	住所	岐阜県多治見市笠原町1647-3	
試料名	(依頼者の申出による呼称) Terrawell-Pro		提出試料(1)点
No.	試験 コード	試験名	
1	Q220	消臭・脱臭性能試験(ガス検知管)	
本研究所に申込みのあった件について次のとおり報告します。 発行日 令和 8 年 3 月 18 日 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所理事長 			
(注意事項) ・ 申込書に記載された受付番号、会社名、住所、試料名、提出試料点数、試験名等を記載しています。 ・ 試料名は依頼者の申出によるものです。 ・ 依頼者は、本報告書の記載事項について、本研究所名義とともに印刷物やインターネット等の電子媒体に掲載して広告しようとする場合は、事前に名義使用の承認申請書を提出し、理事長の承認を受ける必要があります。			

1. 試料名（依頼者の申出による呼称）

Terrawell-Pro

1 点

2. 方法

- 1) 30 L サンプリングバッグを用い、既定の初発濃度となるように各臭気物質のガスを約 20 L 調製した（以下、「臭気ガスバッグ」と称す）。
- 2) 依頼者の指示により、板状の試料（11 cm×11 cm、厚さ 0.6 cm）の 4 つの側面および裏面をアルミテープで被覆した。
- 3) 試料試験として、5 L サンプリングバッグ（以下、バッグと称す）の一隅をカットし、2)の試料 1 枚を入れた後、カット部分を塞ぎ、真空ポンプで脱気した（以下、「試料試験バッグ」と称す）。
- 4) 積算流量計付ポンプコントローラーを介し、試料試験バッグと臭気ガスバッグとを接続し、試料試験バッグ内に各臭気物質のガス 3 L を注入した。
- 5) ブランク試験として、積算流量計付ポンプコントローラーを介し、空の 5 L サンプリングバッグ（以下、「ブランク試験バッグ」と称す）と臭気ガスバッグとを接続し、ブランク試験バッグ内に各臭気物質のガス 3 L を注入した。
- 6) 2、4、および 24 時間後の試料試験バッグおよびブランク試験バッグ内の各臭気物質のガス濃度を、ガス検知管を用い、測定した。

なお、試験はすべて 20 °C の実験室内にて行った。また、臭気物質（初発濃度）および使用した器具を表 1 に示す。

表 1 使用した器具および条件

臭気物質（初発濃度）	トルエン（50 ppm） <i>p</i> -キシレン（50 ppm）
30 L サンプリングバッグ	ジーエルサイエンス株式会社 スマートバッグ PA AA-30
5 L サンプリングバッグ	ジーエルサイエンス株式会社 スマートバッグ PA AA-5
積算流量計付ポンプコントローラー	コフロック株式会社 8500MM / ST-21111801
ガス検知管（測定範囲）	株式会社ガステック トルエン検知管 No. 122L（1 ppm～100 ppm） キシレン検知管 No. 123L（2 ppm～200 ppm）

（次頁に続く）

3. 結果

試験は1回行った。各試験で得られた各臭気物質のガス濃度を表2および表3にそれぞれ示す。

表2 トルエンの試験結果

	ブランク試験	試料試験
2 時間後	50 ppm	20 ppm
4 時間後	50 ppm	20 ppm
24 時間後	50 ppm	15 ppm

表3 *p*-キシレンの試験結果

	ブランク試験	試料試験
2 時間後	50 ppm	25 ppm
4 時間後	50 ppm	20 ppm
24 時間後	50 ppm	15 ppm

—以 上—